

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第35号



参院選での皆様からのご支援・ご協力に感謝申し上げます。事務所費等スキャンダル、大増税問題…共産党が追求した問題は、格差・貧困を広げる与党が大敗北する上で大きな役割を果たしたことは疑いありません。しかし私達自身が伸びれなかったのが残念でした。

原水爆禁止世界大会・長崎に参加。 今なお踏みにじられる被爆者の尊厳

8月7日〜9日まで長崎で行われた「原水爆禁止2007年世界大会・長崎」に参加してきました。私・安藤は昨年の広島大会に引き続いて二年連続の参加になりました。

大会は、第五福竜丸の被曝をきっかけに1955年に第1回大会が開催され、「核兵器全面禁止」に向けて、非核の国の政府、NGO、草の根運動、自治体などとの討論と連帯の場になっていきます。映画監督の山田洋次さんなどもメッセージを寄せています。

大会にはマレーシア、エジプトの政府機関代表など23カ国からの海外代表を含む7000人が参加。田上長崎市長は就任以来初めての世界大会となり、開会総会の来賓あいさつで「非核三原則の法制化を」と述べました。

原爆症認定の問題点、分科会で明らかに

二日目のテーマごとの分科会では、私は「原爆症認定行政の抜本的改善、被爆者との日常的連帯」に参加。長崎裁判の原告のHさんが発言していました。「電車の中で被爆気が付いたら車外に吹き飛ば

されていた。帰宅途中の光景は地獄。足首をつかんで『助けて下さい』と懇願してきた人を自分は怖くなって振り払って逃げた。裁判をたたかって4年。あの時の事を何度も夢でみるようになった。なぜ水を飲ませてやれなかったのかと・・・そう語り涙ぐむHさんは今年に入って4回も入院したそうです。しかしこのHさんも、国からは原爆症とは認定されていません。

現在被爆者は全国に約28万人。そのうち原爆症と認定されているのは、1%にも満たない2169人です。核廃絶に向け消極的な日本政府は、原爆被害をなるべく小さく見せたいと考えているからです。それがどれだけ被爆者の尊厳を傷つけているか。その上、国は今月の熊本地裁判決含む敗訴した全ての判決に控訴。国は控訴を取り下げて原爆被害に向き合い、核廃絶に向けて世界の先頭に立つべきです。



漫画：安藤たい作

「安藤たい作ニュース」は、選挙中につきお休みしております。今週から再開します。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。